多摩情報教育システム（tedu2025）

ユーザマニュアル

Microsoft365 使用上の注意点

Rev 1. 3

2026 年 11 月 16 日

多摩情報センター

目次

1. はじめに 3

1.1. 本書の目的 3

1.2. 本書の記載範囲 3

2. Microsoft365 ソフトウェア使用時の注意点 4

2.1. Microsoft365 へのサインイン 4

2.1.1. 認証情報の保持について 5

2.1.2. 最後の「サインイン」から 30 日を超過した場合について 6

2.1.3. 貸出ノート PC での Microsoft365 ソフトウェア利用について 6

来歴

項番	版数	変更日	変更ページ	変更内容
1	1.0	2025 年 03 月 7 日		新規作成
2	1.1	2025 年 05 月 9 日		未使用期間が 30 日を超過した場合の記載を最後の「サインイン」から 30 日を超過した場合に変更
3	1.2	2025 年 06 月 13 日	5 ページ	2.1.1.認証情報の保持についてに貸出ノート PC の動作について追記
			6 ページ	2.1.3.貸出ノート PC での Microsoft365 ソフトウェア利用についてを追記
4	1.3	2026 年 11 月 16 日	4-5 ページ	net2026 更改における Microsoft365 サインイン手順の変更

＜他社所有商標に対する表示＞
• Microsoft365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
• その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本資料は、多摩情報教育システム(tedu2025)の Windows 端末において Microsoft365 を使用するにあたり、Microsoft365 サインインおよび注意点を記載したものです。

1.2. 本書の記載範囲

表 1.2-1 記載範囲

#		章名	範囲
1		Microsoft365 へのサインインについて	Microsoft365 ソフトウェアのいずれかを初回使用する際に行うサインインの手順及び注意点を記載します。
	1	認証情報の保持について	個人領域に保持される認証情報に対する注意点を記載します。
	2	最後の「サインイン」から 30 日を超過した場合について	利用者が Microsoft365 ソフトウェアにサインインして 30 日を超過した場合の注意点を記載します。

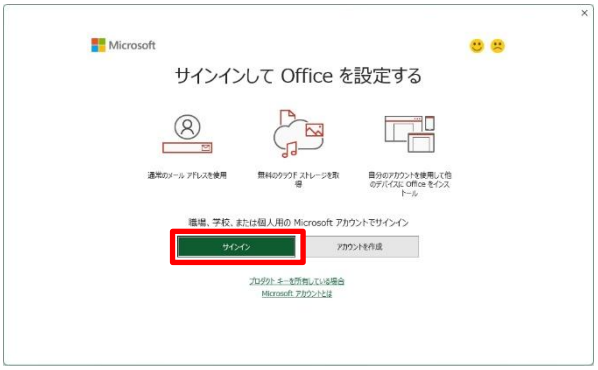
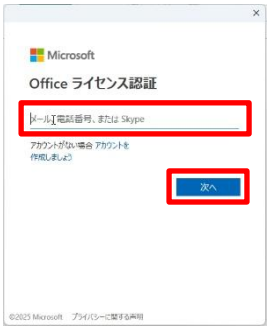
2. Microsoft365 ソフトウェア使用時の注意点

2.1. Microsoft365 へのサインイン

多摩情報教育システム(tedu2025)にて Microsoft365 ソフトウェアを起動すると、初回使用時は Microsoft365 のサインイン画面が表示されるので、法政大学専用 Gmail、統合認証 ID を使用してサインインを行う必要があります。サインイン手順については表 2.1-1 Microsoft サインインを参照し実施ください。なお、2 回目以降は認証情報が個人領域に保持されるため、サインイン画面をスキップして Microsoft365 ソフトウェアを利用することができます。

なお、貸出ノート PC に関しては、再起動によってサインイン情報が消去されるため、都度 表 2.1-1 Microsoft サインインを実施する必要があります。

表 2.1-1 Microsoft サインイン
※ Word や Excel などソフトウェアによって色は異なります。

#	画面	操作
1		「サインイン」をクリックします。
2		法政大学専用 Gmail を入力し、「次へ」をクリックします。

3		統合認証 ID とパスワードを入力し、「パスワードでログイン」をクリックします。
4		左記画面が表示された場合、「閉じる」をクリックします。

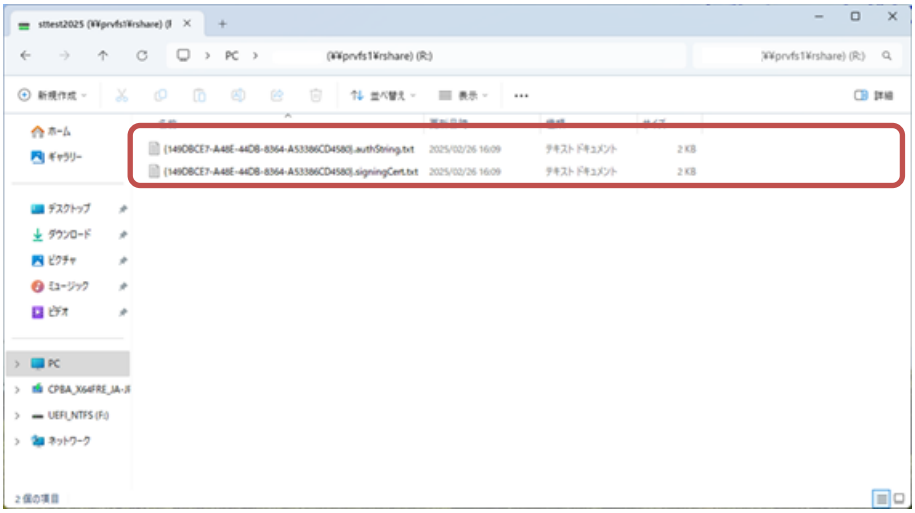
2.1.1. 認証情報の保持について

Microsoft365 へのサインインを実施すると、個人領域へ認証情報が保持されます。(図 2.1-2 (参考)個人領域に認証情報が格納される例)

個人領域に保持された認証情報を削除した場合、 Microsoft365 ソフトウェア起動時に Microsoft365 へのサインイン画面が表示されるため、その場合は表 2.1-3 Microsoft サインインに従い、もう一度実施してください。

貸出ノート PC は自動でログインされ、自身のアカウントではないアカウントで PC にログインされるため、Microsoft365 へのサインインを実施しても認証情報が個人領域に保存されません。貸出ノート PC で Microsoft365 ソフトウェア利用する際は、毎回 表 2.1-4 Microsoft サインインに従い、サインインを実施してください。

図 2.1-5 （参考）個人領域に認証情報が格納される例



2.1.2. 最後の「サインイン」から 30 日を超過した場合について

多摩情報教育システム(tedu2025)にて Microsoft365 ソフトウェアに最後に「サインイン」してから 30 日を超過すると、Microsoft365 ソフトウェア起動時にサインイン画面が表示されるので表 2.1-6 Microsoft サインインに従い、サインインを実施してください。

2.1.3. 貸出ノート PC での Microsoft365 ソフトウェア利用について

貸出ノート PC は再起動によってサインイン情報が消去されるため、都度 表 2.1-7 Microsoft サインインに従い、サインインを実施してください。

－以上－